

看護部の紹介



西伯病院看護フェアにて

本年4月に完成した新病院は、広さが旧病院の約2倍になっていきます。入院の必要な方にはゆったりとした療養環境を提供し、さらに1日も早く良くなって退院していただき、住み慣れた自宅で療養していただきたいと考えて、在宅療養を支援する部門を充実させたことによるものです。

病院には約190名の職員がいますが、看護部には120名余が所属しています。

病棟は4病棟あります。一般科の急性期病棟（3A病棟）、療養病棟（3B病棟）、精神科の急性期と認知症の病棟（4階病棟）と精神科の療養病棟（5階病棟）です。

外来部門は普通の診療科外来だけでなく、通所リハビリテーション、精神科デイケア、重度認知症デイケアと訪問看護ステーションを設置しており、外来へ入院し在宅療養へと切れ目のないサービスを提供し、この地域に住んでおられる皆さまに安心して暮らしていただきたいと思います。

私たちは医療に関する知識と看護技術の向上を目指して、定期的に勉強会を実施し、全国的な学会でも発表して評価を受けています。これからは、皆さまに私たちの持っている知識や技術を講習会などでお伝えし、日常生活に役立てていただきたいと思います。

ご意見、ご要望、疑問な点などございましたら、いつでもお気軽にお申し付けください。

（看護部長 高倉 紀美子）

病院機能評価認定取得に向けて取り組みます！

西伯病院では地域の皆様に親しまれ、より良い病院づくりをしていくために、財団法人日本医療機能評価機構が実施する「病院機能評価」の認定取得に向けて準備をしています。

病院機能評価の認定を取得するためには、病院業務全般にわたる下記のような8つの領域、608項目について自己評価を行い、第三者からの評価・指摘を受けます。これにより病院が抱える問題点が浮き彫りになり、全職員が業務改善に向けて取り組むことにより医療の質の向上を図り、より良い病院づくりを実現することができます。

【評価を受ける領域】

1. 病院組織の運営と地域における役割
2. 患者の権利と安全確保の体制
3. 療養環境と患者サービス
4. 医療提供の組織と運営
5. 医療の質と安全のためのケアプロセス
6. 病院運営管理の合理性
7. 精神科に特有な病院機能
8. 療養病床に特有な病院機能

平成17年度看護研究発表の実績

○院内看護研究発表

- ①退院時、在宅スタッフが欲しい情報が記載できる看護サマリー(※1)
- ②転倒の要因と予防を考える
-実態と課題-
- ③認知症患者への回想法の効果
- ④間隔伸張法を取り入れた転倒予防への試み
-認知障害の一事例を通して-
- ⑤高齢者介護による介護者の成長・発達感獲得の実態と関連要因の分析

○全国学会発表

- 日本精神科看護技術協会
向精神薬服用患者の転倒要因の実態
-12事例のアクシデント報告書の分析-
- 日本看護協会
第37回日本看護学会 -老年看護-
高齢者介護による介護者の成長・発達感獲得の実態と関連要因の分析（示説）

○環日本海NST(※2)フォーラム

当院におけるNST活動

※1 サマリー:要約 ※2 NST:栄養サポートチーム